

今週（3月8日から3月12日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、先週に続き各業態から堅調な資金調達意欲が見られた。

無担保コールO/Nは、8日（月）から11日（木）までいずれの業態も調達スタンスにはほとんど変化が見られず、邦銀の調達を中心に▲0.025%～▲0.005%の出合いが中心となった。12日（金）は、今積み期最後の週末となったことから、ビッドを引き上げる先が見られ▲0.02%～▲0.005%の出合いが中心となった。無担保コールO/N加重平均レートは、8日（月）▲0.014%、9日（火）▲0.013%、10日（水）▲0.013%、11日（木）▲0.012%で推移した。ターム物に関しては、1～2W物を中心に▲0.010%～▲0.005%の水準で引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、週の前半は484兆円前後で推移したものの、10日（水）に5年債の発行などの影響で減少し、以降は481兆円程度で推移した。

●レポ市場

今週の債券レポ市場は、GC T/N物は、概ね▲0.080～▲0.035%程度のレンジで推移した。

SC個別銘柄については、5y140～146、10y350～361、20y170～175、30y60～69、40y9～13などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、年初からの金利低下が一巡したと見られ、3M物が▲0.105～▲0.095%、6M物が▲0.115%近辺出合いと、やや軟調に推移する展開となった。一方で、1Y物は動意なく閑散なマーケットとなった。

9日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.103%での出合いが見られる中、平均落札利回り▲0.1070%、按分落札利回り▲0.1030%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.113～▲0.110%出合いと、堅調に推移した。

11日に実施された短国買入オペは、前回から5,000億円増額の2.0兆円でオファーされ、平均落札利回り較差+0.002%、按分落札利回り較差+0.001%と、無難な結果となった。

12日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.096～▲0.094%での出合いが見られる中、平均落札利回り▲0.0964%、按分落札利回り▲0.0930%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.104%出合いと、堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、週間償還総額が8,800億円程度に対して、週間発行総額は8,300億円程度と若干の償還超となった。先週に引き続き、足許の発行案件は少ないものの、機械・陸運業態から1,000億円超の大口発行が見られ、発行総額を大きく押し上げた。発行残高はピークを過ぎたと思われるものの、引き続き週を通して24兆円台後半の高水準で推移した。レート水準については、年度末を越える発行案件では、新型コロナ対応オペへの担保確保需要から積極的な水準での決着も見られた一方、年度内に償還を迎える発行案件では、依然としてマイナス圏で推移しているものの総じてレートが気持ち上昇する傾向が見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
3/8（月）	28,743.25	0.110	108.35	△ 0.014	△ 0.071	4,835,700
3/9（火）	29,027.94	0.125	109.11	△ 0.013	△ 0.065	4,844,800
3/10（水）	29,036.56	0.120	108.81	△ 0.013	△ 0.064	4,813,700
3/11（木）	29,211.64	0.100	108.51	△ 0.012	△ 0.080	4,813,000
3/12（金）	29,717.83	0.110	108.75	△ 0.013	△ 0.054	4,819,300

来週（3月15日から3月19日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/15 (月)	1月の機械受注統計(内閣府 8:50) 1月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				
3/16 (火)	FIN/SUM (フィンサム) 2021において黒田総裁講演	流動性供給 5,000億円 3/17発行			米FOMC(1日目) 1月の米企業在庫 2月の米小売売上高 2月の米鉱工業生産・設備稼働率
3/17 (水)	10-12月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 2月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 35,000億円 3/22発行			米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 2月の米住宅着工件数 2月のユーロ圏消費者物価指数改定値
3/18 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00～)	TB3M 67,000億円 3/22発行			英中銀MPC結果発表
3/19 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 2月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/15 (月)	600	3,900	4,500	国債買入 CP買入 国債補完	▲ 1,200 900	9,700	9,400	13,900	TB3M発行▲67000償還64500 個人向け3・5・10Y発行▲3000 個人向け3・5Y償還400
3/16 (火)	0	4,000	4,000				0	4,000	
3/17 (水)	0	▲ 2,000	▲ 2,000	貸出支援	▲ 63,400		▲ 63,400	▲ 65,400	確定申告揚げ 流動性供給▲5000
3/18 (木)	▲ 1,000	6,000	5,000	CP買入		6,000	6,000	11,000	
3/19 (金)	▲ 1,000	20,000	19,000				0	19,000	保険料の払い
週 間 合 計	▲ 1,400	31,900	30,500	—	▲ 63,700	15,700	▲ 48,000	▲ 17,500	

3/15は日銀予想、3/16以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、15日（月）が積み最終日のため、無担保コールO/N物加重平均レートの水準は、横ばいからやや上昇することが予想される。又、16日（火）からは新しい積み期間に入るため、一旦低下することが予想されるが、3月積み期間に適用する基準比率（日本銀行当座預金のマクロ加算残高にかかる基準比率）が、11.5%から15.5%に引き上げられる影響にも注目したい。レボ市場は、新積み期の不透明感の下、GC T/N物のレートは▲0.085～▲0.055%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、17日（水）に1Y物、18日（木）に3M物の入札が実施予定であるが、需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は、15日（月）にCP等買入オペが予定されており、市場参加者の玉確保ニーズが堅調な中、レート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では、18～19日に金融政策決定会合、19日に2月の全国CPI、海外では、16～17日にFOMC、18日に英中銀MPC結果発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入